

## 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 設立会合(議事概要メモ)

1. 日 時:令和3年2月16日(水) 16時15分～17時00分
2. 場 所:大阪府庁本館1階 第4委員会室
3. 出席者:会長 吉村 洋文 大阪府知事  
会長代行 松井 一郎 大阪市長  
顧問 松本 正義 公益社団法人関西経済連合会会長  
顧問 尾崎 裕 大阪商工会議所会頭  
顧問 深野 弘行 一般社団法人関西経済同友会代表幹事
4. 議 事:議案1 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会設立趣意書の件  
議案2 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会規約承認の件  
議案3 会長、会長代行の選任の件  
報告事項1 顧問の委嘱の件  
報告事項2 総合プロデューサーの選任の件  
報告事項3 主な業務内容と全体スケジュールの件  
報告事項4 2020年度の事業計画の件

### 5. 議事概要:

#### 【事務局】

ただいまから、2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会設立会合を開催いたします。私は大阪府万博協力室長の安井でございます。よろしくお願いいたします。委員会設立時の会議でありますことから、議長となられる会長が選出されるまでの間、私が進行を務めさせていただきます。

資料ですが、議案第1から第3、報告事項第1から第4にかかる資料を配布させていただいておりますのでご確認ください。本日の出席者は、資料1ページのとおりでございます。関西経済連合会松本会長様、大阪商工会議所尾崎会頭様、関西経済同友会深野代表幹事様にはオンラインでご参加いただいております。

まずは、本総会を構成するすべての設立時委員にご出席いただき、有効に成立していることをご報告させていただきます。それでは、早速、議事に入りたいと思います。議案第1は資料3ページ設立趣意書です。本設立趣意書につきましては、2025年大阪・関西万博出展参加基本構想に基づきまして、人は生まれ変わる、新たな一歩を踏み出すという意味を込めたREBORNをテーマに大阪・関西万博への出展参加をめざし、大阪の総力を結集し、府民・市民の参加とご協力も得ながら取組みを推進していくための組織体制といたしまして2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会を設立し、出展内容の企画等を行うものでございます。議案第1については、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

#### 【松本顧問、尾崎顧問、深野顧問】

意義ありません。

#### 【事務局】

ありがとうございます。次に議案第2資料4ページ規約についてでございます。規約は、目的第3条

を、大阪・関西万博において地元大阪が出展するパビリオン及び関連事業の企画を行い、大阪のアピール並びに大阪の成長及び発展に寄与すること。構成員第5条といたしまして目的の推進に寄与する地方公共団体、経済団体、その他出展参加する者等によること、そのほか、役員会や部会、及び顧問を設けること等を規定しております。設立当初は理事会を設けず、会務は会長、会長代行により執行いたします。

今後、委員会の参画企業は、総合プロデューサーの下、出展基本計画案の策定に携わっていただき、パビリオン出展に向けてご提案・調整を進めていただきますが、こうした企業の中からも理事にご就任いただけるようになれば、理事会を設置し、委員会会務を執行してまいりたいと考えております。規約について原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

【松本顧問、尾崎顧問、深野顧問】

意義ありません。

【事務局】

ありがとうございます。次に議案第3資料9ページ会長、会長代行の選任についてでございます。会長について、吉村洋文大阪府知事会長代行について、松井一郎大阪市長を選任ということによりよろしいでしょうか。

【松本顧問、尾崎顧問、深野顧問】

意義ありません。

【事務局】

どうもありがとうございます。監事については、今年度中に総会で選任します。それでは吉村会長からご挨拶をお願いしたいと存じます

【吉村会長】

大阪パビリオンの推進委員会の会長に就任をいたしました大阪府知事の吉村です。いよいよ大阪パビリオン、地元のパビリオンがスタートする、その検討が具体化して始まっていくかたちになります。大阪地元パビリオンを成功させるために会長として尽力をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

地元パビリオンのテーマはREBORNということですが、大阪館ですから、まさにこの日本万博を成功させるために我々いろいろ活動していますけど、大阪の独自、大阪の強み、大阪のすばらしさ、そういったものを世界へ発信していける館にしていきたいと思っております。そのためにも、とんがったパビリオンにぜひしたいと思っております。今後メインプレイヤーも含めて、地元パビリオンに参画していただく企業のみならず、あるいはプロデューサーのいろんな方からアイデアを出していただきたいと思っております。

また、国に対する規制緩和や必要な制度改革があれば、私と会長代行である松井市長と国にも働きかけをしていきたいと思っております。経済団体のみならずにも今後ともご助言をよろしくお願いしたいと思います。この地元パビリオン、大阪パビリオンの成功が、日本万博の成功にもつながると思っておりますし、大阪の子どもたちに、そして大阪の若者に50年後60年後大阪の未来に希望をもって上

を見ていこうよと思ってもらえるような、そういったレガシーを残せるようなパビリオンをぜひ作っていきたいと思います。よろしくお願いします。

**【事務局】**

続いて松井会長代行からご挨拶をお願いします。

**【松井会長代行】**

ただいま、本推進委員会の会長代行に就任しました、松井です。これまで地元パビリオンの出展について大阪府や有識者の方と共に検討してきたところですが、ようやく基本構想を具体化できる組織を立ち上げることができました。本推進委員会に大阪の知恵を結集いただき、世界からあっと驚かれるパビリオンを皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

大企業の皆さんはそれぞれ企業独自とか業界団体でパビリオンを設置されると思いますが、やはり大阪は中小企業の街であります。中小企業の皆さんのイノベーションの技術、そして世界へ貢献したい、その技術をもって世界中に貢献して、またそれが自らの事業にプラスアルファになるというような方々の受け皿としてこのパビリオンをしっかり作っていきたいと思いますので、ぜひ経済界のみなさまにも、様々な出展希望、またアイデア等々がもう集まってきていると思いますので、ぜひこの大阪パビリオンを活用し、大阪の中小企業の技術力、力を世界に発信していける場にしたいというように思いますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

はい。ありがとうございます。それでは規約11条により吉村会長に続いての議長をお願いしたいと思っておりますよろしくお願いいたします。

**【吉村会長】**

それでは、議事を続けます。次に報告事項です。報告事項の1資料10ページ顧問の委嘱についてです。規約14条により顧問を委嘱することができますが、経済3団体代表である、松本関西経済連合会会長様、尾崎大阪商工会議所会頭様、深野関西経済同友会代表幹事の皆様には、民間の立場から、また大阪をPRするこの地元パビリオンの推進の観点から、顧問に就任いただき、広くご助言をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ご出席いただいております関西経済連合会松本会長様から一言お願いします。

**【松本顧問】**

松本でございます。今後、総合プロデューサーのもとで大阪パビリオンの基本計画を策定することになりますが、関経連としても大阪パビリオンを盛り上げ、成功に導くために企業への発信など当然協力していきたく思うわけです。もう一つは、博覧会協会でもご存じのとおり、8人のプロデューサーがいのちをテーマにし、パビリオンの出展内容を検討しております。参画企業等に、わかりやすく大阪パビリオンの内容を説明できるように、博覧会協会と出展内容をよく調整していただきたいと思っております。以上2点です。

【吉村会長】

松本会長ありがとうございます。では、引き続いて大阪商工会議所尾崎会頭様からお願いします。

【尾崎顧問】

はい、どうもありがとうございます。大阪商工会議所の尾崎です。会長そして会長代行がおっしゃったように、大阪らしさというものをを見せていただけるような、そういうパビリオンにしていきたいと思っています。

会長がおっしゃった大阪の中小企業それから、スタートアップする人たちが未来に向けて発信できる場にしていただきたいなど、これからプロデューサーが、何をどうするかというのを決められるでしょうけども、そういう中で、こんなことをここで展示してほしいというのを、いろんなスタートアップ・中小企業が参加できる、みんなでワイワイやってこの指とまれという感じで、展示を集める、ストーリーを作るということでできたらと思います。

それから、企業だけではなくて、学生さんや若い人も参加できる場をぜひ提供していただきたい。2025年終わって、その人たちが世界で活躍をしたり、20年後30年後に大阪館で僕はこんなことをチャレンジしたんや、こんなことをやったんやと思えるような、言えるような、そういう経験を積むことが非常に大事なんじゃないかなと思います。そういうところもお願いしたいと思います。

それから、やっぱり大阪ですから、暗い顔して入った人がニコニコして出てくるという、そういうエンターテイメント、面白かったなという要素をぜひ作っていただきたいと思います。

この館のプロデューサーとそれから全体のプロデューサーの方と調整して、全体として整合性のあるようなテーマにしていきたいと思います。わたくしからは以上です。

【吉村会長】

尾崎会長ありがとうございます。それでは、関西経済同友会深野代表幹事様からよろしく申し上げます。

【深野顧問】

深野でございます。地元パビリオンの成功というのは私共経済界においても大変重要であります。推進委員会の地元パビリオンの成功のためにも我々としても助言や協力をしていきたいと思っています。

松本顧問、尾崎会頭のお話からもかかっているのですが、わたくしからは2点申し上げます。まず、1つは大阪パビリオンについては大変強い関心があると感じておりまして、ぜひそういう人達の参考になるような、情報提供をお願いできればと思います。同友会に万博専門委員会というものがありまして、これまでPLLの提案とかは、非常に関心の高いものになっています。

それからもう一つ、テーマ館があり、地元パビリオンがあり、それぞれの企業のグループによっては、企業パビリオンを出展していくというのがあります。いずれも成功していただきたいなと思います。企画を考える方も大変だと思いますので、ぜひ出展を選択するにあたって、わかりやすい取り組みにしていきたいと思っています。

【吉村会長】

松本顧問、尾崎会頭、深野顧問、ご意見ありがとうございます。ぜひ大阪万博、大阪パビリオンの成

功に向けて頑張ってもらいたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

報告事項第2資料11ページを見ていただければと思います。総合プロデューサーについてです。大阪が出展をめざすパビリオンは、大阪・関西が持つライフサイエンス分野のポテンシャルを活かし、テーマである「REBORN」のもと、「健康」という観点から、健康寿命を延ばし、そして生涯にわたりいきいきとした生活を送れるよう、生活の質QOLを向上させる展示の実現を主眼とします。このためには、ライフサイエンス産業分野の様々な技術やアイデアを広く収集をして、展示にふさわしいコンテンツ等を見極め、企業等の協力を得ながら、出展基本計画を作っていくことが必要です。とりわけパビリオンの核となった健康医療分野の専門家である大阪大学大学院医学系研究科教授の森下竜一氏が総合プロデューサーに適任であると思っています。同氏は、健康長寿をめざすアンチエイジング医学の研究実践の第一人者として、府市の医療政策等にも委員として関わるなど、関連医療産業の動向にも精通されており、また地元パビリオンにおけるアンチエイジング等、ライフサイエンス産業による人々のQOLを高める展示、体験の実現をリードしていただけると期待しています。

以上から森下竜一様に就任をおねがいしたいと思います。何かご意見、ご質問等ございますか。

【松本顧問、尾崎顧問、深野顧問】

意義ありません。

【吉村会長】

ありがとうございます。では、森下竜一氏を総合プロデューサーに選任したいと思います。続いて組織体制、報告事項第3、第4について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

ただいま選任されました会長、会長代行をはじめ、ご報告のありました顧問や総合プロデューサーなどで構成される推進委員会の組織図でございます。資料12ページをご覧ください。

まず、委員総会としては、府市、経済団体にご参加いただき、今後出展企業等にも参加を求めてまいります。会務の執行は設立当初は会長、会長代行が担いますが、今後、出展企業等の参画により理事会を設置予定でございます。また部会を設置し、部会には医療健康、食、バーチャルなどのワーキンググループを設け、企業にご参画をいただきまして、プロデューサーのもと展示内容などを検討してまいりますと考えております。

次に、報告事項第3資料13ページでございますが、これは主な業務内容と全体のスケジュールです。パビリオン出展にむけた全体スケジュールの中、企画業務といたしまして、2021年度から出展基本計画の策定を進めてまいります。バーチャル大阪館につきましても、基本計画策定の中でコンセプトや具体的なコンテンツの検討を進めてまいります。報告事項第4、資料14ページでございます。2020年度3月末までの事業計画でございます。総合プロデューサーと相談しながら、出展基本計画策定に向けた準備業務、2021年度本格着手のための体制整備等に取り組んでまいります。なお、今年度、委員会の経費支出の予定はございません。説明は以上でございます。

【吉村会長】

今の説明でご質問等ございますか。ないようでしたら、皆様のご協力をいただきまして、全ての議

事を滞りなく進めることができました。ありがとうございました。今後とも大阪パビリオン成功に向けて邁進してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは事務局に返します。

**【事務局】**

どうもありがとうございました、それでは設立会合はこれで終わりにさせていただき、オンライン会議はここまでとさせていただきます。どうもありがとうございます。

以上